

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番 (9月18日)	17番 田畑純二 議員	市政最高レベルの方針を引き出す質問として 1. 人口減少時代における市長の政治姿勢について	① 市長は人口減少時代における市長の政治姿勢はどうあるべきだと思います、日常の行政でどうしているか。	市長
			② 本市では人口減対策として、どんな政策をどう実行し、その成果効果はどうか。	市長
			③ 総務省が5月に発表した小規模自治体向け地域再生工程表をどう評価し、本市行政でどう生かしていくか。	市長
			④ 日本創生会議が地方自治体の半数を「消滅可能性都市」として公表したことをどうとらえ、本市の対策にどう生かしていくか。	市長
			⑤ 複数の地方自治体が、簡単な手続きで行政サービスを分担できるようにする改正自治法が成立したが、本市ではどう生かしていくか。	市長
		2. アート(芸術)を活用したまちづくりについて	① アートによる地域振興の可能性を、市長はどう考え、本市行政でどう生かしているか。	市長
			② 芸術が社会に貢献できることは何と市長は考え、社会貢献にどう期待しているか。	市長
			③ 本市におけるアートによる地域振興の具体的例とその成果効果を具体的に示せ。	市長
			④ 全国各地にある廃校が、文化や学びの拠点に生まれ変わっているが、本市の実態はどうか。	市長
			⑤ 日置市の伝統工芸品である日置瓦の活用について、市長はどう考え、どう実行しているか。	市長
		3. 人口減少時代の自治体職員について	① 人口減少時代の自治体職員に求められるものは何であると、市長は考えているか。	市長
			② 人口減少自治体の行政サービスと職員の能力開発をどう考え、どう実行しているか。	市長
			③ 人口減少時代の財務マネジメントと人材戦略をどう考え、どうしていくつもりか。	市長
			④ 地域コミュニティの活性化と職員の役割は。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番 (9月18日)	7番 山口初美 議員	1. 受動喫煙対策について	① オリンピック開催地等では受動喫煙を条例や法律で防止しているが、本市でもマナーやモラルに頼るのではなく受動喫煙を防止する条例をつくる考えはないか。	市長
			② 健康づくり条例を制定するなど、健康づくりに力を入れるまちとして、医療費削減の観点からも受動喫煙防止条例は有効と考えるがどうか。	市長
		2. 店舗リフォーム助成制度について	① 仕事おこしと地域活性化策として店舗リフォーム助成制度を新設できないか。	市長
		3. 学校給食の無料化について	① 給食費が払えず、肩身の狭い思いをしている児童・生徒はいないか。	教育長
			② 子育て支援策として、また義務教育は無償とする憲法第26条第2項に定められているように、小中学校給食費の無料化を実施する考えはないか。	教育長
		4. 脱原発について	① 川内原発のオフサイトセンターが事故で機能しなくなった場合、代替施設として本市にある消防学校に移設されるというが、進捗状況はどうか。	市長
			② 要援護者や小中学校の避難計画の進捗状況について伺う。	市長 教育長
		5. 高すぎる国保税の引き下げについて	① 国保税を支払うと生活保護基準以下の所得水準になる世帯があるのではないか。	市長
			② 分納相談だけでなく、医療費の免除制度や国保税の支払猶予などできないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3番 (9月18日)	19番 長野瑛や子 議員	1. 地域医療・介護の総合法制定と地域包括ケアの対応について	① 法律制定による日置市への影響と、その対策をどう考えているか。	市長
			② 第6期介護保険計画策定のタイムスケジュールと進捗度について伺う。	市長
			③ 地域包括ケアシステムでは重度患者を住み慣れた地域で支援しているとされているが、今後の対応は十分か。	市長
		2. 教育行政の取り組みについて	① 教育委員会制度改革をどのように捉え、今後の教育行政にどう生かすか。	市長 教育長
			② 総合教育会議と大綱づくりの考えを伺う。	市長
			③ 教育長には来年度からの「新教育長」の指名や現教育長の任期などの扱いはどうなるか伺う。	市長
			④ 土曜日の教育活動推進プロジェクトについてどう捉えているか。	教育長
			⑤ 26年度から小・中学校で使用の副読本「私たちの道徳」の活用状況はどうか。	教育長
		3. 財政運営について	① 公会計の改革が推進される中、日置市の準備状況と課題は何か。	市長
			② 計画的な財政運営の仕組みを構築し、将来世代に過度な負担を残すことのない安定した財政運営を確保する目的を実行する「健全な財政運営に関する条例」制定の考えは。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4番 (9月18日)	18番 池満 涉 議員	1. 広島市での大規模土石流災害など、各地で予測しにくい災害が多発している。これらの災害から市民を守るための、取り組みについて	① 「土石流」「急傾斜」など、危険箇所の把握はできているか。	市長
			② その情報は、どのような形で、どの範囲まで市民に公開されているか。	市長
			③ 避難の判断、災害発生時の対応など、行政の責任範囲をどう考えるか。	市長
			④ 「公助・共助・自助」のすみ分けは確立できているか。	市長
		2. 市内の「空き家の活用」と「危険廃屋の対応」について	① 行政が積極的に空き家を貸家にする方策を考える時期だが、どう考えているか。	市長
			② 住宅密集地にある「廃屋」の対応についてどう考えるか。	市長
		3. 「改正鳥獣保護法」も成立したが、森林の荒廃・猟友会員の減少など課題は山積している。本市の現状と対策について	① 鳥獣被害の実態はどうか、農家などからの声・要望はどのようなことか。	市長
			② 猟友会など狩猟現場からの声・要望はどのようなことか。	市長
			③ 捕獲動物の「ジビエ」としての活用は考えられないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番 (9月18日)	5番 黒田澄子 議員	1. 配偶者暴力相談支援センターの設置を	① DV被害者の相談状況と支援における現状と課題を問う。	市長
			② DV対策基本法に基づき市町村の設置努力義務となっている配偶者暴力相談支援センターの設置の必要性を市はどう考えるか。	市長
			③ ほとんどの被害者が女性となるDVに対して、ワンストップとなるセンターは女性に優しい・安心安全なまちづくりのためにも設置すべきと考えるが市長の見解を問う。	市長
		2. 今夏の広島土砂災害を鑑み、本市の防災対策、災害発生時の対応を問う。	① 本市において今夏の広島土砂災害と同等の災害が発生した場合、市の初動体制における最重要点は何か。	市長
			② 広島では複数の気象情報を受け、見落としがあり、また積算雨量より予想雨量を重視したため避難勧告を躊躇(ちゅうちょ)したようだ。そこで、本市における避難所開設・避難勧告・避難指示はどのタイミングで発令され、現状の伝達で全市民に伝わっていると考えるか。	市長
			③ 避難所・公営住宅はすべて急傾斜地、土砂災害を含めた危険区域から十分離れた場所にあるか。	市長
			④ 避難所開設が長期化した場合の課題は何か。	市長
		3. 日置市子ども・子育て等条例案における日置市の子育て支援のあり方を問う。	① 今回の制度改正で大きくかわる保護者等への説明会を開催すべきと考えるがどうか。	市長
			② 保育時間が短期となる子どもの保育時間帯は、保護者の働き方に合わせたものとなるか。	市長
			③ 保育料の設定はどうなるか。また、現在は近隣市より高めの部分もあり段階を増やして軽減していくべきかどうか。	市長
			④ 0・1・2歳の保育に欠ける子どもの量を市はどのように考え今後の定員へ反映していくか。	市長
			⑤ 幼保連携型認定こども園が認可された場合、現在示された公定価格案では小規模では価格が高く、大規模では経営が厳しくなる印象を持つが、市はどう考えるか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番 (9月18日)	5番 黒田澄子 議員	4. さらに見やすい日置市ホームページのあり方を問う。	① 日置市ホームページへの情報の掲載についての課題は何か。	市長
			② ホームページ上に掲載されているフェイスブックの利用の現状と課題、今後の利用についてはどう考えるか。	市長
			③ 先進的な武雄市に学び、もっと市民が知りたい情報がリアルタイムに発信されるホームページへとリニューアルする考えはないか。	市長
		5. 合併10年の市として市主催の祭り・花火大会の開催を考えないか。	① 仮称日置市盆踊り大会・花火大会のような市民が一同に会せる催しを望んでいる声は市に届いていないか。	市長
			② 日置市出身者の県外の同郷会・同窓会・企業等も鹿児島市のおはら祭に参加している現状がある。本市での祭りを開催する考えはないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6番 (9月19日)	9番 上園哲生 議員	1. 介護保険制度への取り組みについて	① 平成25年度は、借り入れをせずに、何とか運営することができたが、今年度は、給付費支払準備基金も底を尽き、借り入れをせざるを得ない状況である。そのつげは、現在策定中の第6期介護保険料にまわってくるが、相互扶助の限界を超える様な感じも持つが、どのような方針で臨まれるか伺う。	市長
			② 市内に多くの介護施設、在宅介護がある中で、適切な介護サービス利用のあり方が問われるが、どのような施策で取り組んでいくか伺う。	市長
			③ 来年10月には、全国介護サミットが開催される予定になっているが、本市ならではの特色あるサミットにどのように取り組まれる考えか伺う。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番 (9月19日)	15番 漆島政人議員	1. 第2次総合計画(H28～H37)の策定について問う	第1次総合計画が平成27年度で終了することに伴い、現在、第2次総合計画の策定に向けた作業が進行中である。 そこで、	
			① 第1次総合計画と同じ形式で(基本構想・基本計画・実施計画)策定するのか。また、策定までの手順と、いつまでに策定するのか。	市長
			② 実施計画の財源裏付けとなる財政計画はできているのか。	市長
			③ 今後、合併支援策の終了等で歳入は減少していく。一方、事業量の増や数多い公共施設の維持管理修繕費等で、歳出は増えていく。 したがって、全ての事業を精査し、廃止や見直しなど今後の経営方針を明確にした上で、第2次総合計画へ反映していく必要があると認識するが、見解を問う。	市長
			④ 急速に進行している過疎化の影響で、今後10年間の内には、地区公民館機能の維持運営が出来なくなる地区も予測される。 また、中心部以外の地域は、更に衰退する可能性は高い。 そこで、	
			(1) 26の地区別振興計画は、第2次総合計画でも継続していく考えなのか。	市長
			(2) 4つの地域別振興策は、どういった考え方で策定するのか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8番 (9月19日)	2番 畠中弘紀 議員	1. 森林・林業振興について	① 日置産材の需用拡大対策の現状と課題を伺う。	市長
			② 林業労働者の育成、確保の現状と課題を伺う。	市長
			③ 病虫害や野生動物による森林被害の防除・予防対策の現状について伺う。	市長
			④ 山林の危険個所の点検及び森林災害が発生した場合の事故対策と体制整備はどのようにしているか伺う。	市長
		2. 日置市臨時職員の雇用形態について	① 日置市の現在の臨時職員の人数と雇用形態について伺う。	市長
			② これからの臨時職員の処遇改善について見直しは計画していないか。	市長
			③ 専門職の臨時職員の長期雇用ができないか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9番 (9月19日)	11番 坂口洋之 議員	1. 27年度から実施される生活困窮者支援制度の本市の取り組みについて	① 生活困窮者支援制度の本市の基本的な考え方はどうか。	市長
			② 対象範囲と対象者の把握について、どのように考えているか。	市長
			③ 25年度から国のモデル事業の中間的就労支援について日置市は取り組んだが、取り組み状況についてどう考えているか。	市長
		2. 障がいをもつ方々が安心して暮らせるまちづくりについて	① 日置市障がい者計画及び障がい福祉計画についての取り組み状況はどうか。	市長
			② 計画を進める中での成果と課題は何か。	市長
			③ 日置市障がい者等基幹相談センターが24年度から設置されたが、設置の目的と相談や支援の状況はどうか。	市長
		3. インフラ設備が老朽化する中での土木技師職員の役割について	① これまで土木技師の多忙化、職員不足による問題が委員会報告や議員から指摘されたが、26年度について改善されたか。	市長
			② 各自治体で土木技師職員の不足が指摘され、業務への影響、入札不調につながるようなケースも見られているが、本市の状況はどうか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
10番 (9月19日)	12番 花木千鶴 議員	1. 共生協働の地域づくりについて 2. 子育て支援策の充実について	① 現在、「第3次地区振興計画」を策定中であるが、地域力の維持・強化に資する活動を行う「地域おこし協力隊」を活用した地域づくりも検討すべきではないか。	市長
			① 学齢期の児童を抱える方々の子育てに「放課後児童健全育成事業」は欠かせない。しかし、地域によっては、事業所が不足したり、利用しにくい現状がある。	市長
			(1) 現状をどのように把握しているか。	市長
			(2) 今後に向けて、どのように取り組む考えか。	市長
			② 本市の乳幼児・児童・生徒の発達支援は、他市からも評価されている。なかでも、心理職の配置は高い評価を受けているが、それでも十分ではない面がある。更なる充実を図るために、	
			(1) 保育所等訪問事業は、学齢児の課題をどれくらいカバーできるか。	市長
			(2) 子ども支援センターの心理職を常勤にすべきではないか。	市長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
11番 (9月22日)	3番 留盛浩一郎 議員	1. 消防団員の確保など地域防災力の強化について	① 本市の消防団の状況に関し、団員数のこれまでの推移や定員に対する充足率、年齢構成、女性の割合などについて、また、本市特有の傾向や課題などはどのように分析しているか。	市長
			② 消防団員への勧誘など、確保のためにどのような取り組みを行ってきたか。	市長
			③ 「機能別消防団」の取り組みについて何う。	市長
			④ 総務省の消防審議会は「消防団を中核とした地域防災力の充実強化の在り方に関する中間答申」を消防庁長官に提出したが、この答申に関連して本市に対する要請や働きかけがあったか。さらに、この答申に関する考えを合わせて何う。	市長
			⑤ 地域における消防団活動に対する理解促進のために、消防団員が優遇を受けられる仕組みは考えないか。	市長
		2. 認知症支援の充実について	① 本市の認知症サポーターはどれくらいか。また、これまでのサポーター養成講座の開催状況と人数の推移について何う。	市長
			② 本市においては企業など職域に対して、認知症サポーター養成の働きかけや支援をどのように行ってきたか。	市長
			③ 市民への認知症の普及・啓発と支援のネットワークづくりのために、民間の商店や事業所等に対する認定制度の創設は考えないか。	市長
④ 認知症の人や家族が安心して暮らせる日置市をめざして、認知症に特化した総合的な行動計画を策定してはどうか。	市長			

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
13番 (9月22日)	21番 成田 浩 議員	1. 景観行政団体加入の件について	① この事業の特性は何か。 ② 効果についてどのように考えているか。 ③ 条件などはどうなっているか。 ④ 地域の振興計画でハード、ソフトの事業に組み込んでいけるか。	市長 市長 市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
14番 (9月22日)	14番 大園貴文 議員	1. 過疎・高齢化対策について	<p>① 本市の過疎地域の現況から対策のさらなる見直しの検討が必要と考えるがどうか。</p> <p>② 一戸建て市営住宅の浄化槽等施設整備を充実させ住みやすい環境づくりを進めるべきである。また、定住を希望する利用者については、住宅の払い下げを検討できないか。</p> <p>③ 三年目になる定住促進補助金について、市内に住んでいる人も対象の枠を広げ過疎対策に繋げていくべきと考えるがどうか。</p> <p>④ 自治会運営交付金の在り方を見直し、持続可能な地域づくりに傾斜配分枠を設けるべきではないか。</p> <p>⑤ 公共交通について、伊集院駅の完成に合わせ、高齢化が進む本市では、複合的な視点から福祉と観光が融合する市周遊バスの創設を実施すべきではないか。</p>	市長 市長 市長 市長 市長